
銀魂 ~壊れた~

白龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

銀魂～壊れた～

【ZPDF】

Z0629M

【作者名】

白龍

【あらすじ】

真選組に銀さんが白夜叉とバレてしまひ感じです。

(前書き)

初めてなんで上手くできているかわかりません。
見てくれたら、いいと思います。

「僕は銀じやないよ 白だよ・・・」
銀髪の男が言った。

数時間前

(銀)「新ハイいちご牛乳買ってこーい」

(神)「酢昆布も買つてくるアル」

(駄) 「いやですよ自分で行ってください。」といふか何でぼくだけ(駄)?

いつもどーりの万事屋。

か
つ
た。

ピーンポン

(銀) 「新八一出でくれー」

(新) ハイハイ。

ガラガラ

そこにいたのは真選組トップのゴリラと土方と沖田だった。
(近)「おー新ハくん。坂田はいるか?」

(新) 「いきますけど……どうしたんですか? 怖い顔をして」

(十) 「こらむんならあがらして貰うぞ。」

新八の言ひとおり三人とも怖い顔をしていた。
三人は銀ちゃんの前でたつて言った。

(十一) 「お前が……」

(銀) 「何、大串くん? 早く用件言つてよ」

(十) 「お前が……白夜叉なのか……?」

あーあついこぼれてしまつたなと銀時は田をとじた。
もつれこぼれ、いられないなど思いながら……。

(沖) 「田那、田を閉じないでこたえてくだせ!」

(銀?) 「やつだよ、沖田総悟君。」

「のとき、齒おかしこと思つた。いつも声より若い声で
そして、氷のよつに冷たい言葉だった。

(十) 「白夜叉を、認めるのか……万事屋」

(銀?) 「僕は銀じゃないよ 田だよ……」

それでは、みんなの頭にははてなマークがつかぶ

(近) 「どうこいつだ？」

(田) 「僕と銀は同じのよつだけ違う。僕は銀の中の鬼で攘夷戦争に出てたのは

銀じゃなくて僕なんだ。銀だとすぐに壊れちゃう。」

田は何かを思うと寝室の棚から赤色の鞘の剣をだしてきて

(田) 「じゃーね。僕はあいつらのもとへいく。神楽、新八
「めさん」

と言い窓から出て行ってしまった。

1年後

萩に銀髪の男が田撃したと情報が来た。

そして長い髪の男や包帯をまいたはでな服の男、もじやもじやの男も田撃された。

(後書き)

最後までありがとうございました。

もし「」の続きが見たいなどありましたら感想などの所に入れてください

本当にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0629m/>

銀魂～壊れた～

2010年10月20日18時16分発行